

「2006年5月から2011年7月までに当院健康診断センターで 人間ドックを受診された方へのお知らせ」

当院健康診断センターでは、メタボリックシンドローム判定に腹膜前脂肪厚の測定が有用であるかどうかについての研究を、2006年5月から2011年7月までに人間ドックを受診され、腹部超音波検査を受けられた方の健診結果を用いて検討させていただきたいと考えています。

以下にその詳細を記しますので、もし疑問点などありましたら、遠慮なく下記連絡先にお問い合わせください。

研究課題名：メタボリックシンドローム判定における腹膜前脂肪厚測定の有用性

背景・目的：

メタボリックシンドロームの診断基準のひとつとして、人間ドックでは通常、腹囲の計測が行われています。これは、腹囲とメタボリックシンドロームの原因のひとつである内臓脂肪蓄積との関連が強いということからです。しかし、腹囲の判定に身長との相関が考慮されていないことや、腹囲を測定する際の誤差が少なくないのではないかとの問題が指摘されています。

これに対して、腹部超音波検査の際に計測できる腹膜前脂肪厚の方が、内臓脂肪蓄積の指標でもあり、メタボリックシンドロームの判定に有用ではないかとの報告があります。ただ、必ずしも十分なデータの蓄積がなされているとは言えず、本当に有用なのかどうか、さらに検討することが必要です。

そこで、当院健康診断センターで2006年5月から2011年7月までに人間ドックを受診された方のデータをもとに、このメタボリックシンドローム判定における腹膜前脂肪厚測定の有用性を検討する研究を実施させていただければと考えています。

方法：

2006年5月から2011年7月までに人間ドックを受診され、腹部超音波検査を受けられた方については、腹部超音波検査の標準的な測定項目のひとつとして腹膜前脂肪厚の測定を行わせていただいています。また、今回検討に使わせていただく各種の血液検査、尿検査、生理機能検査や、現病歴、家族歴、生活習慣についての問診などについても、人間ドックの通常の検査項目、問診項目として実施させていただいています。これらのデータを用いて研究を行いますので、新たに検査をお願いしたり、問診をさせていただ

いたりするようなことはありません。

また、これまでの人間ドックの検査結果などについては、健康診断センターのデータベースに蓄積されていますが、この中から、今回の研究に必要なデータを抽出し、受診者の方の氏名、患者番号などの個人情報を削除した上で、検討に用いさせていただきます。したがって、受診者の方の個人情報が外部に漏れる心配はありません。また、検討の結果は、学会演題や学術論文として発表する予定ですが、これについても、受診者の方の個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。

なお、疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですし、それにより何らの利益、不利益が生じることもありませんので、その場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

問い合わせ先

川崎医科大学 健康管理学

関 明穂

(住所) 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

(電話) 086-462-1111 (内線) 26505 (健康管理学実験室)

(FAX) 086-464-1040

(メールアドレス) aki.seki@med.kawasaki-m.ac.jp